

ふいるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



木の実拾ふほと生死や掌たのうら

仲町 玉野 研一

身の丈に暮らす歳月翳雲

緑町 池田 良子

粗垣あらがきに陽のよして染むる紅芙蓉

西岡町 渋谷 みさ子

愛いとしてや紅白餅を背負ふ秋

西原町 児玉 久美子

腰のばす老の手に乗る糸とてば

南桜町 宮腰 幸子

秋暑し砂場に残る三輪車

旭町 宝澤 房子

移り気な雨に傾げる紫苑かし しおんかな

西町 金澤 頼子

学校祭茶筌ちやせんふる音秋日和

元町 印牧 安子

図書室の静もる外は初紅葉

仲町 坂部 和子

秋の風ハス待つ女のほつれ髪つと

元町 西崎 弘子

新号の御一家称え秋山河た

緑町 齋藤 嘉子

きのこ汁めがね曇らせ息一つ

仲町 梅基 文子

鈴鳴らし声掛け合いて茸狩

旭町 大河 博子

休日の良きよあるかど落葉踏む

西町 岸波 君江

ひよこるめがるみ残す刈田かな

西町 杉浦 とし枝

身の太い秋刀魚いすちや夕の飯

藤本町 鈴木 ゆき子

平凡な日々のある日のぶどう狩

西岡町 高瀬 久美子

寄り道の時間も入れて秋の旅

東町 高橋 世津子

虫すだく夜の帳りを震わせて

西町 文梨 清子

一の先の齡よわいに膝掛け編み始む

仲町 芳賀 星子